



一本木 未優さん



市ではこのたび、市役所に婚姻届を提出する人が気軽に写真を撮れるよう、1階にフォトブースを設置しました。その制作に一役買ったのが、宮島工業高等学校のJRC部（青少年赤十字同好会）の皆さん。市内産の佐伯杉を使い、デザインから木材の加工、組み立てまで、先生や空間デザイナーの指導を受けながら制作しました。

「もともとモノ作りと人のためになることが好きなんです」と建築科に通い、JRC部長を務める一本木未優さんは笑顔で話始めます。

「入学前は授業や部活動で教

実際の地域や他の学校からの依頼を受け、自分たちで考えながら進めることが多く、想像以上に責任が伴います。大変なときもありますが、辞めたいと思うことはありません。

「今回のフォトブースも、ただの置物ではなく、どうしたらアートのようになると考え、案を出しました。その案をより現実的なものにしてくれたデザイナーさんの仕事を、間近で見ることができたのがうれしかったです。ずっと記念に残るようなと言ってもらえるようなブースにできたのではないかと思います」と一本木さん。



3月15日に入籍した2人が、いち早くブースで記念撮影。

建築科の教師で、JRC部の顧問を務める近藤明弘先生は、「教科書を読むよりも、実践を通して『気付き、考え、実行する』方が、ずっと勉強になると感じています。自分たちの得意分野で地域の皆さんと関わること、生徒たちの良さを知ってもらえます。皆さんからの感謝の言葉や励ましが、生徒たちの活力になっています」と話してくれました。



近藤 明弘 先生

上のQRコードを読み込み、市公式ホームページに飛ぶことができます。近藤先生やJRC部のみなさんの活動の様子を掲載しています。ぜひご覧ください。



「広報はつかいち」テキスト版をホームページに掲載しています。お問い合わせは、社会福祉協議会 090294

はつかいら人 vol.16

廿日市市で輝く人を紹介します

宮島工業高等学校 一本木 未優さん (17歳・大野)

編集後記

婚姻届を提出する場面を「記憶と記録」に残したいというニーズに応えるべく、シティプロモーション活動の一環で、「Happy Marriage Ceremony」事業を立ち上げました。そのメインイベントの1つとして、婚姻届などを持って気軽に写真が撮れるよう、フォトブース（上の写真右下）を制作しました。

制作には、紙面に登場してくださった宮島工業高等学校の生徒さんたちと近藤先生、市内の木材業者さんや空間デザイナーさんなど、多くの方にご協力いただきました。皆さんに出会って事業を始動できたことに、心から感謝します。

吉岡里奈

今回、市内の学校を取材し、たくさんのお恩師に再会しました。取材の合間に、授業の話、部活動の話、同級生の話など、当時の懐かしい話で盛り上がり、楽しい時間を過ごさせていただきました。

久しぶりに恩師の授業を聞いたとき、懐かしい気持ちになるとともに「多くの先生に育てられて、今の自分がここにいるんだな」と、人生の中で先生の存在の大きさを改めて実感しました。

今、学びの環境が変わってきていますが、先生と子どもとの関係はいつの時代も変わらないと思います。

西岡秀治

目の不自由な人のための「広報はつかいち」テキスト版を音声読み上げのための「広報はつかいち」テキスト版をホームページに掲載しています。「広報はつかいち」のウェブサイト、アプリ、図書、点訳本があります。問い合わせは、社会福祉協議会 090294

発行 廿日市市 7238-8501 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号
08292900001(代)・0829291059
編集 分権政策部 経営政策課 広報統計グループ
ホームページアドレス http://www.city.hatsukachi.hiroshima.jp/
フェイスブックアドレス http://www.facebook.com/hatsukachicity